



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社中央製作所

上場取引所 名

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 服部 光生

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,690	2.7	177		165		159	
2022年3月期第2四半期	1,738	20.5	54		30		28	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 195百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 10百万円 (163.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	206.72	
2022年3月期第2四半期	36.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,184	2,046	48.9
2022年3月期	4,697	2,258	48.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,046百万円 2022年3月期 2,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		20.00	20.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2022年3月16日に公表しました「海外連結子会社の解散・清算に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループ内における経営の最適化、経営資源の集中と効率化を目的に連結子会社である秋欧機械設備(上海)有限公司を解散及び清算いたしました。その結果、当社は連結子会社が存在なくなり、2023年3月期第4四半期より非連結決算へ移行するため、2022年8月10日に公表済の2023年3月期連結業績予想は取り下げ、個別での業績予想の開示を行うことといたしました。なお、2023年3月期個別業績予想につきましては、本日(2022年11月11日)公表の「非連結決算への移行及び2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	784,300 株	2022年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	11,415 株	2022年3月期	10,987 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	773,154 株	2022年3月期2Q	773,349 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注実績	9
(3) 販売実績	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナ政策への転換による経済活動の正常化に向けた動きがありましたが、欧米諸国におけるインフレ抑制策としての金融引き締めにより急激な円安が進み大幅な物価上昇が生じました。

また、半導体をはじめとした電子部品や部材の大幅な納期遅れが発生している状況下で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化がエネルギーコストの上昇を招き、国内製造業における設備投資は一部コロナ禍からの回復基調がみられる一方で、設備計画修正の動きへとつながりかねない状況が鮮明になりました。

このような経済状況の中で、当社グループとしましては、電子部品や部材の大幅な納期遅れや供給不足に対してその調達に注力するとともに、受注・売上の確保に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は2,313百万円（前年同四半期比30.3%増）、売上高は1,690百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。損益については、営業損失177百万円（前年同四半期は営業損失54百万円）、経常損失165百万円（前年同四半期は経常損失30百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失159百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円）の計上となりました。

今後、エネルギーをはじめとする資源価格の高騰や円安による輸入資材価格の上昇が重石となり設備投資に対する検討の長期化や規模縮小が懸念されるものの、カーボンニュートラルの実現に向けた設備更新や人手不足と生産性の向上に対応する合理化・省力化に向けた設備投資、円安に伴う製造業の国内回帰は進むと判断しております。こうしたニーズに対する的確な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。なお、第1四半期連結会計期間より、従来「表面処理装置」「環境機器」として区分しておりました報告セグメントについて「表面処理装置」に統合しております。これは「環境機器」が当社グループの「表面処理装置」に付帯する機器であり、経営管理体制の現状の実態を踏まえ、「表面処理装置」の区分とすることがより適切であると判断したことによるものであります。このため、前第2四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

#### (電源機器)

電源機器につきましては、電池業界、自動車関連業界ならびに電子部品業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることで受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は921百万円（前年同四半期比31.2%増）、売上高は502百万円（前年同四半期比24.7%減）となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与する高効率電源などの製品の更なる改良を進め受注・売上の確保に努めてまいります。

#### (表面処理装置)

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、電子部品業界などを中心に、新規および更新需要の掘り起こし、既設設備の改造・改善需要に注力してまいりました。その結果、受注高は856百万円（前年同四半期比70.6%増）、売上高は684百万円（前年同四半期比21.2%増）となりました。

今後につきましては、IoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M（当社グループ商品名）の提案および既存装置の改良・改善提案により受注・売上の確保に努めてまいります。

#### (電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内市場においては、自動車関連業界、鋼製家具業界などを中心に、新規及び更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。また、海外市場においては海外代理店との連携を密にして、電子部品業界を中心に販売に努めてまいりました。その結果、受注高は290百万円（前年同四半期比6.3%減）、売上高は、314百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

今後につきましては、社内の溶接実験設備を積極活用し、お客様のご要望にお応えすることで受注・売上の確保に努めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.7%減少し3,299百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が262百万円、現金及び預金が178百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.9%減少し884百万円となりました。これは、主として投資その他の資産が70百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.9%減少し4,184百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.4%減少し1,652百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が190百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し485百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて12.4%減少し2,137百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.4%減少し2,046百万円となりました。これは、主として利益剰余金が175百万円減少したことなどによります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期首時点に比べて178百万円減少し1,239百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は141百万円（前年同四半期は収入355百万円）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額258百万円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額190百万、税引前四半期純損失165百万円などであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は27百万円（前年同四半期は支出31百万円）となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出14百万円などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は16百万円（前年同四半期は支出0百万円）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額15百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月16日に公表しました「海外連結子会社の解散・清算に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループ内における経営の最適化、経営資源の集中と効率化を目的に連結子会社である秋欧機械設備（上海）有限公司を解散及び清算いたしました。その結果、当社は連結子会社が存在しなくなり、2023年3月期第4四半期より非連結決算へ移行するため、2022年8月10日に公表済の2023年3月期連結業績予想は取り下げ、個別での業績予想の開示を行うことといたしました。なお、2023年3月期個別業績予想につきましては、本日（2022年11月11日）公表の「非連結決算への移行及び2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,567,123	1,389,098
受取手形及び売掛金	854,078	591,472
電子記録債権	453,887	458,445
商品及び製品	85,118	90,921
仕掛品	583,740	594,129
原材料及び貯蔵品	131,414	154,648
その他	62,007	21,082
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	3,737,071	3,299,499
固定資産		
有形固定資産	287,679	288,175
無形固定資産	70,268	64,502
投資その他の資産	602,659	532,076
固定資産合計	960,607	884,753
資産合計	4,697,678	4,184,252
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	783,096	592,828
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	10,630	6,676
その他	420,094	312,916
流動負債合計	1,953,821	1,652,420
固定負債		
長期借入金	40,000	40,000
繰延税金負債	103,688	88,800
退職給付に係る負債	262,038	245,425
その他	79,943	110,943
固定負債合計	485,670	485,169
負債合計	2,439,492	2,137,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,385,522	1,210,227
自己株式	△16,169	△16,847
株主資本合計	2,097,938	1,921,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,300	112,975
為替換算調整勘定	10,947	11,721
その他の包括利益累計額合計	160,247	124,696
純資産合計	2,258,185	2,046,662
負債純資産合計	4,697,678	4,184,252

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,738,489	1,690,934
売上原価	1,361,428	1,417,386
売上総利益	377,061	273,547
販売費及び一般管理費	431,354	451,435
営業損失(△)	△54,293	△177,888
営業外収益		
受取利息	492	26
受取配当金	4,750	5,729
為替差益	30	203
雇用調整助成金	-	3,618
補助金収入	19,617	3,867
その他	3,088	1,609
営業外収益合計	27,978	15,053
営業外費用		
支払利息	3,214	3,131
その他	917	6
営業外費用合計	4,132	3,137
経常損失(△)	△30,446	△165,972
特別利益		
固定資産売却益	29	228
投資有価証券売却益	5,565	-
特別利益合計	5,595	228
特別損失		
固定資産処分損	0	248
特別損失合計	0	248
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,851	△165,992
法人税、住民税及び事業税	939	939
法人税等調整額	2,606	△7,102
法人税等合計	3,545	△6,163
四半期純損失(△)	△28,397	△159,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,397	△159,829

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△28,397	△159,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,538	△36,324
為替換算調整勘定	2,371	774
その他の包括利益合計	38,910	△35,550
四半期包括利益	10,513	△195,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,513	△195,379
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△24,851	△165,992
減価償却費	24,146	55,283
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△124	△124
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△8,516	23,207
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15,309	△16,613
受取利息及び受取配当金	△5,243	△5,755
支払利息	3,214	3,131
固定資産処分損益 (△は益)	△29	19
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,565	-
売上債権の増減額 (△は増加)	140,061	258,092
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△136,982	△39,362
仕入債務の増減額 (△は減少)	214,109	△190,267
その他	170,409	△63,447
小計	355,319	△141,828
利息及び配当金の受取額	5,243	5,755
利息の支払額	△3,387	△3,131
法人税等の支払額	△1,878	△1,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,297	△141,082
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,169	△14,968
有形固定資産の売却による収入	30	279
無形固定資産の取得による支出	△29,150	△9,800
投資有価証券の取得による支出	△128	△147
投資有価証券の売却による収入	8,757	-
その他	777	△2,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,883	△27,158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△8	△15,373
その他	△92	△677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100	△16,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,727	6,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	326,041	△178,024
現金及び現金同等物の期首残高	1,285,331	1,417,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,611,373	1,239,098

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### 3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

第1四半期連結会計期間より、従来「表面処理装置」「環境機器」として区分しておりました報告セグメントについて「表面処理装置」に統合しております。これは「環境機器」が当社グループの「表面処理装置」に付帯する機器であり、経営管理体制の現状の実態を踏まえ、「表面処理装置」の区分とすることがより適切であると判断したことによるものであります。このため、前第2四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同四半期比（％）
電源機器	577,002	△17.8
表面処理装置	674,314	0.4
電気溶接機	314,690	△7.3
その他	186,554	11.2
合計	1,752,561	△6.8

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

#### (2) 受注実績

当第2四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（％）	受注残高（千円）	前年同四半期比（％）
電源機器	921,754	31.2	802,603	70.4
表面処理装置	856,473	70.6	754,238	△3.8
電気溶接機	290,969	△6.3	151,445	16.9
その他	243,991	△6.1	217,145	2.2
合計	2,313,188	30.3	1,925,433	20.6

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
電源機器	502,243	△24.7
表面処理装置	684,519	21.2
電気溶接機	314,213	△13.1
その他	189,957	31.4
合計	1,690,934	△2.7